# 社 報



# 職長の声(ある鉄筋工職長の話です)

#### シールを貼ってください

当社では次のシールを作成いたしましたので、必要な場所に貼り付けて安全意識の高揚・不安全行動の防止を図ってください。

「もし、ケガしたら?すぐに報告、適正処置!今日も一日ご安全に!」

このシールはヘルメット内側に貼り付けしてください。

「手持ち空中切禁止!軍手 での使用禁止!材料の安定確 保!」

このシールは丸/コの目立つところに貼り付けしてください。

「釘打機には保護メガネ!」 このシールは釘打機とコンプレッ サーに貼り付けしてください。

シールがない場合は各部長に申し出てください。また、ただシールを貼るだけでは安全の確保はできません。シールを見て、ルールを守って、こそ安全が確保できるわけですから、各自がきちんと行動してください。

\*\*\*\*\*\* お願い \*\*\*

各現場の要望により、オリジナルシール・オリジナル標識(A3サイズまで)をカラーで作成いたします。枚数は1枚だけでもOKです。

現場の安全活動を盛り上げるためにおおいに利用してください。

大阪建設専門安全協力会連合会という組織があります。通称は専安連と言われているこの団体は、専門工事業(大工・鳶土工・鉄筋工など)の横断的安全活動組織です。

その専安連で研修会が開催され、田村工業(鉄筋工事)の伊藤職長が素晴らしい話をされたそうですので、以下にその要約を発表します。

--- 伊藤職長 談 ---

施工環境は年々厳しくなっている。職長の任務は無事に立派に現場を納めることと、そして後進技能者を育てることだと考えている。現場を工期通り、安全に、品質を保ちながら納めた時の満足感は格別である。だれでも入職時(18歳頃)は安全を考える余裕もない。言われることをするので精一杯。

入職後2・3年経つと知ったかぶりが始まり、叱っても安全帯をつけなかったり、近道行動したり、横着を覚える頃でもあるので、この時期には特に厳しく指導する。だんだんベテランの領域に近づいて来ると、自分でルールを作ったりするようになるので、そんないもであるようになるので、そんないもは、部下に必ずあったことを報告させ、何かあった場合ない。を報告させ、何かあったもはがあったもはならない。気にいるといるとない。気にはならない。

後進の育成の基本は「先が見える職人」に。そのためには常に「会話」は欠かさない。

甘い職長の下には甘い職人が育つ。うっかりする場合も、ルールを守らない場合も、知っててやらない場合もある、どんな場合でも気兼ねな〈声を掛け合うことが大切。無謀・無理は絶対禁物。願わくば、雨天・酷暑時などに工期の余裕が欲しい。

--- 以上 要約 ---

やはり現場最先端で活躍している職長さんの話には説得力があるもんです。また、この職長さんの話には、話だけでなく実行が伴っていることが実感できます。自分の配下に甘い職人がいることは自分のせいであると言い切っているところはスゴイと関心させられます。 最近の若いモンではなく、「甘い職長の下には甘い職人が育つ」とは、なかなか言い切れるものではありません。

もちろん当社にも素晴らしい能力を持った職長さんが大勢いますし、伊藤職長にひけをとることはありませんが、人の素晴らしいところは吸収し、見習うべきはさらに勉強する。そういう姿勢を崩してはならないと思います。

特に安全についてはゼネコンさんからの指導も厳しいと思いますが、言われたからやらなあかんではなく、

なぜそのようなことを言われるのか、言われないようするにはどうすれば良いのか、先を読んで自ら手を打ち行動することが望まれます。

### 工事量の見通しにつきまして・・・・・。

皆様方のお力を得て、フォービルの会社設立から1年と6ヶ月が過ぎようとしています。おかげ様をもちましてお得意先の信用も、「ようやく得られて来たかなぁ」と

感じられるようになってきました。 しかし、生まれたてのフォービルにはまだまだ懐疑的な視線も強く感じることも良くあります。信用の上にも信用を、その為にはやはり材料屋さん品物を納めていただき、職人さんに良い仕事をしてもらうより他はありません。 今年から来年にかけて着工する 工事につきましては、すでにそこ そこの物量のある現場を5現場 (現在は未着工)をすでに受注し ております。さらに引き合い・見積 依頼もいただいておりますし、来 年の工事につきましては、まあま あの工事量を確保しておりますの で、その点はご安心をいただい て、消化面につきましてよろしく お願いをいたします。

## 安全成績(H16年度)

現場災害 H16.1.1-H16.10.30 重大災害------0 休業災害-----1 物損災害-----0 その他 ------0 合計---2 交通災害 H16.1.1-H16.10.30 人身災害 ------0 物損災害 ------1

安全方針:整理整頓の徹底!